Panasonic

取扱説明書

CD ステレオシステム

品番 SC-PM48

安全上のご注意
準備
再生と録音
タイマー
必要なとき

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

5 ページ
電源を切っても表示部が光る!?
「デモ機能」を解除してください。

困ったときは？

Q&A（よくあるご質問） → 16 ページ
こんな表示が出たら → 16 ページ
故障かな !? → 17 ページ

本機のサポートを受ける場合に必要ですので、必ずご愛用者登録をお願いいたします。
ホームページでご愛用者登録ができます。 詳しくは裏表紙をご覧ください

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（→ 19 ～ 21 ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日·販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(➔ 19 〜 21 ページ)

準　備

再生と録音

タイマー

必要なとき

MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

iPod は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

● 本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音したテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

支部	電話	支部	電話
本部	☎ (03) 3481-2121	静岡支部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中部支部	☎ (052) 583-7590
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
長野支部	☎ (026) 225-7111	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大宮支部	☎ (048) 643-5461	神戸支部	☎ (078) 322-0561
上野支部	☎ (03) 3832-1033	中国支部	☎ (082) 249-6362
東京支部	☎ (03) 3562-4455	四国支部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 5321-9530	九州支部	☎ (092) 441-2285
東京イベント・コンサート支部	☎ (03) 5321-9881	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立川支部	☎ (042) 529-1500	那覇支部	☎ (098) 863-1228
横浜支部	☎ (045) 662-6551		

付属品を確認してください

□ FM 簡易型アンテナ(1 本)
【RSAX0002】

□ AM ループアンテナ(1 本)
【N1DAAAA00001】

□ リモコン(1 コ)
【N2QAYB000390】

□ 電源コード(1 本)
【RFA2816】

□ リモコン用乾電池
(単 3 形、2 本)

(お知らせ)

- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- カッコ【　　】内は、2009 年 2 月現在の品番です。品番は変更されることがあります。

CLUB Panasonic
Pana Sense

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

本機の置きかた

CD ステレオシステム(SC-PM48)

スピーカー
(SB-PM48)

センターユニット
(SA-PM48)

センターユニットとスピーカーは 1 cm 以上離してください。
スピーカーは左右とも同じ形です。どちら側にも設置できます。

■ スピーカーについて

- 付属のスピーカー以外はご使用になれません。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコンなどの近くに置かないでください。

■ よりよい音響効果を得るために

音はスピーカーの置きかたによって変わります。例えば、床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。

下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- しっかりした、平らで安定した場所に設置する。
- 左右のスピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする。また周りの反射をできるだけ少なくする。
  例)左右は壁から離す。堅い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛ける。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する。
- 鑑賞時の耳の位置と同じくらいの高さにスピーカーを設置する。

お願い

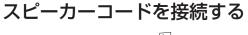
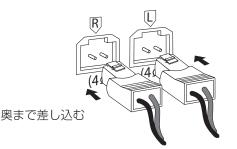
- **大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。**
- **通常の使用時でも次のような場合は、音量を下げてご使用ください。(音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります。)**
  - **音がひずんだとき**
  - **音質を調整するとき**

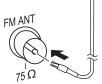
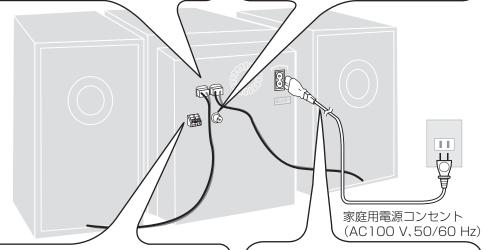
■ 本機を移動するときは

① CD やテープを取り出す
② [電源 ⏻/I] を押して電源を切る
③「GOODBYE」の表示が消えてから電源プラグを抜く

- 上記操作を行わないと、故障の原因になることがあります。

スピーカーやアンテナを接続する

スピーカーコードを接続する

FM 簡易型アンテナを接続する

奥までしっかり差し込む

つないだあと、実際に放送を受信してみて（➜ 12 ページ）雑音の少ない位置で、壁や柱にテープで止めます。

AM ループアンテナを接続する

つないだあと、実際に放送を受信してみて（➜ 12 ページ）雑音の少ない位置に置きます。

電源コードを接続する

電源コードは最後に接続します。

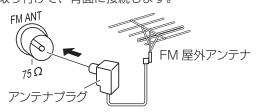
■ 電源コードを抜くときは

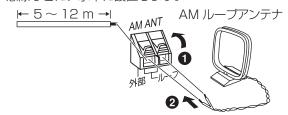
① ［電源 ⏻/I］を押して電源を切る
②「GOODBYE」の表示が消えてから電源コードを抜く

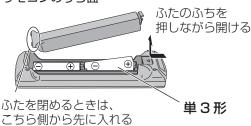
■ ラジオがうまく受信できないとき

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をおすすめします。

● FM（テレビアンテナの利用）

付属の FM 簡易型アンテナを取り外します。
アンテナ線（同軸ケーブル）をアンテナプラグ（市販）に取り付けて、背面に接続します。

● AM（市販のコードの利用）

付属の AM ループアンテナは取り外さないで、いっしょにつないでおきます。
窓際などに、水平に設置します。

リモコンの使いかた

■ 乾電池（付属）の入れかた

● ⊕、⊖ を確認してください。
● 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

■ リモコンの使用範囲

■ 使用上のお願い

● 受信部とリモコンの間に障害物を置かない。
● 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
● 受信部と送信部のほこりに注意する。

■ 本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

■ 他の機器のリモコンで本機が誤動作するとき

下記の方法で、本体とリモコンのリモコンモードを変更してください。（お買い上げ時の設定は「REMOTE 1」です。）

本体側の切り換え

① CD が入っている場合は CD を取り出す
② 本体の［CD ▶/❚❚］を押したまま、リモコンの［2］（または［1］）を 2 秒以上押したままにする
（「REMOTE 2」（または「REMOTE 1」）が表示されます。）

リモコン側の切り換え

③ リモコンの［決定］と［2］（または［1］）を 2 秒以上押したままにする
● 本体とリモコンのリモコンモードが異なっているときは、画面に表示されている数字のモードにリモコン側を切り換えてください。

デモ機能について

電源コードを接続すると、約 10 秒後に表示部が点灯します。（デモ機能）

デモ機能を解除するには

-デモ

デモ機能動作中に
「DEMO OFF」と表示されるまで
押したままにする

上記操作をするたびに：
DEMO OFF ⇄ DEMO ON

(お知らせ)

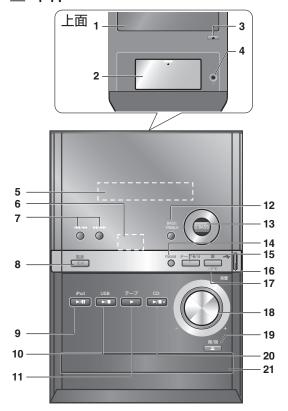
● 本機の時計を合わせる（ 14 ページ）とデモ機能は自動的に動作しなくなります。

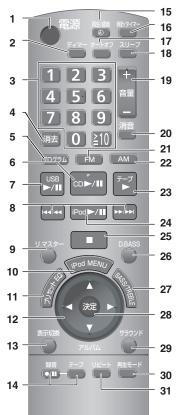
準備

スピーカーやアンテナを接続する

各部のはたらき

「➔ 10」などは参照ページです。

■ 本体

1. テープホルダー部（➔ 10）
2. iPod ふた（➔ 11）
3. テープを入れる、取り出す（➔ 10）
4. ∩（ヘッドホン）端子（➔ 14）
5. 表示部
6. リモコン受信部（➔ 5）
7. スキップ / サーチする
   周波数やプリセットチャンネルを選ぶ
   時計を合わせる
   バス / トレブルを調整する
8. 電源を入 / 切する
9. iPod を再生 / 一時停止する（➔ 11）
10. USB を再生 / 一時停止する（➔ 13）
11. テープを再生する（➔ 10）
12. バス / トレブルを選ぶ（➔ 13）
13. D.BASS を入 / 切する（➔ 14）
14. FM/AM を切り換える（➔ 12）
15. テープに録音する / 録音を一時停止する（➔ 10）
16. USB 端子（➔ 13）
17. 停止する
    デモ機能を入 / 切する（➔ 5）
18. 音量を調節する
    • 0（最小）～ 50（最大）
19. CD トレイを開 / 閉する（➔ 8）
20. CD を再生 / 一時停止する（➔ 8）
21. CD トレイ部（➔ 8）

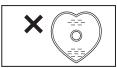
■ リモコン

1. 電源を入 / 切する
2. 表示部の明るさを変える
   • 押すたびに：
     表示部（暗）⇄（明）
3. 番号を選ぶ（➔ 8、9、12、13）
4. プログラム曲を消去する（➔ 9）
5. プログラム設定を入 / 切する（➔ 9）
6. CD を再生 / 一時停止する(➔ 8)
7. USB を再生 / 一時停止する（➔ 13）
8. スキップ / サーチする
   周波数やプリセットチャンネルを選ぶ
   時計を合わせる
   バス / トレブルを調整する
9. リ．マスターを入 / 切する（➔ 14）
10. iPod メニュー画面に入る（➔ 11）
11. イコライザーを設定する（➔ 13）
12. アルバムやトラックを選ぶ
    iPod メニューを操作する
13. 表示を切り換える
14. テープに録音する / 録音を一時停止する（➔ 10）
15. おめざめ / 留守録タイマーを設定する（➔ 15）
16. 時計 / タイマーを設定する（➔ 14、15）
17. オートオフを入 / 切する（➔ 14）
18. おやすみタイマーを設定する（➔ 15）
19. 音量を調節する
    • 0（最小）～ 50（最大）
20. 一時的に消音する
    • 解除するには、もう一度押す／音量を調節する／電源を切る
21. FM を選ぶ（➔ 12）
22. AM を選ぶ（➔ 12）
23. テープを再生する（➔ 10）
24. iPod を再生 / 一時停止する（➔ 11）
25. 停止する
26. D.BASS を入 / 切する（➔ 14）
27. バス / トレブルを選ぶ（➔ 13）
28. 決定する（➔ 5、11、12）
29. サラウンドを入 / 切する（➔ 14）
30. 再生モードを選ぶ（➔ 8）
31. リピート再生する（➔ 9）

● 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

CD／テープについて

CD について

のマークが入ったものをご使用ください。

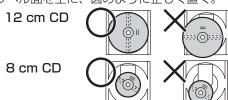
ただし、ハート型など、特殊形状の CD はご使用にならないでください。(機器の故障の原因になります)

上記ロゴマークの入ったものなど、規格に合致したディスクをご使用ください。また、違法にコピーしたディスクや規格外ディスクについては録音や再生を保証していません。
DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）の再生は保証しておりません。

● CD-R と CD-RW の再生について

CD-DA フォーマットで記録された音楽用 CD-R と CD-RW 再生に対応しています。録音終了時にファイナライズ※が必要です。ただし、記録状態によって再生できない場合があります。

※ 音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■ディスクの入れかた

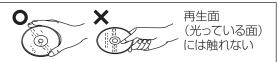
• ラベル面を上に、図のように正しく置く。

■取扱上のお願い

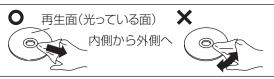
CD そのものの破損の原因となるほか、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

• 鉛筆やボールペンなどで字を書かない
• レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
• 紙やシール、ラベルを貼らない
• 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない
• シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない

• 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

● 持ちかた

再生面（光っている面）には触れない

● 汚れたときは

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

● 露がついたら

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

● CD を良い音でお楽しみいただくために

別売の専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。
推奨品：CD レンズクリーナー（品番 RP-CL510）

テープについて

● 100 分を超えるテープ

テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。（回転部に巻き込まれることがあります。）

● エンドレステープについて

使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

● テープのたるみは巻き取ってください

テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

● テープを良い音でお楽しみいただくために

定期的に市販のクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

● 録音したテープを誤って消さないために

ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するにはセロハンテープなどを貼ってください。

ノーマルポジション

■取扱上のお願い

テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。

• テープに付属している以外のシール（特に厚みのあるシール）を貼らない
• 指定以外の場所にシールを貼らない

CD を聴く

本機で再生できるディスク

市販の音楽 CD（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（CD-DA）	○
CD-R/CD-RW（WMA/MP3）	×

CD を聴く

1 ［電源］を押して電源を入れる

2 ① 本体の［開 / 閉 ≜］を押して CD を入れる

② もう一度［開 / 閉 ≜］を押してトレイを閉める

（手で押して閉めない）

3 ［CD ▶/❚❚］を押して再生する

4 ［＋ 音量 －］を押して音量を調節する

停止する	［■］（停止）を押す
一時停止する	［CD ▶/❚❚］を押す • 再開するには、もう一度押す
曲を飛ばす（スキップ）	［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押す
早送り/早戻しする（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押したままにする
好きな曲から聴く（ダイレクト再生）	数字ボタンを押す • 10 以上を選ぶには［≧ 10］を押してから数字ボタンを押す（例：16 ［≧ 10］→［1］→［6］）

お知らせ

● 電源「切」の状態で、すでに CD が入っている時に［CD ▶/❚❚］を押すと、自動的に電源が入り再生が始まります。（ワンタッチ再生）

● ランダム設定（➔下記）やプログラム設定（➔ 9 ページ）中は、ダイレクト再生はできません。

再生範囲を変える / 順不同で聴く

① ［CD ▶/❚❚］を押す

② ［再生モード］を押して再生モードを選ぶ

1-TRACK 1TR	1 曲を再生します。 数字ボタンで曲を選びます。
RANDOM RND	CD をランダム再生します。

お知らせ

● CD を取り出すと、再生モードは解除されます。

● ランダム再生中は、一度再生した曲へスキップできません。

● ランダム再生中のサーチは、再生している曲の中だけで行われます。

再生残り時間を見る

現在の曲の情報を見ることができます。

再生中 / 一時停止中に、［表示切換］を押す

押すたびに：

再生経過時間 ⇄ 再生残り時間

くり返し聴く

リピート再生は、下記の再生方法と組み合わせることができます。

● 通常の再生（→ 8 ページ）
● 再生モードを変えて再生（→ 8 ページ）
● 曲を選んで再生（→ 下記）

再生する前や再生中に、[リピート] を押す

「ON REPEAT」と“ ”が表示されます。

■ 解除するには、[リピート] を押す

「OFF REPEAT」が表示され、“ ”が消えます。

曲を選んで聴く

プログラム

好みの曲を選んで、好きな順に聴くことができます。最大 24 曲までプログラムできます。

① 停止中に、[プログラム] を押す

② 数字ボタンを押して曲を選ぶ

10 以上を選ぶには [≧ 10] を押してから数字ボタンを押す
続けて選ぶときはこの操作をくり返す

③ [CD ▶/❚❚] を押す

停止する	再生中に、[■]（停止）を押す （プログラム内容は保持）
通常の再生に戻す	停止中に、[プログラム] を押して“PGM”を消す （プログラム内容は保持）
プログラム再生に戻す	停止中に、[プログラム] →[CD ▶/❚❚] を押す
プログラム内容を確認する	“PGM”が表示されている 停止中に、[⏮/◀◀] や [▶▶/⏭] を押す
プログラム曲を追加する	“PGM”が表示されている 停止中に、左記手順②を行う
プログラムの最後の1曲を取り消す	“PGM”が表示されている 停止中に、[消去] を押す
プログラムをすべて取り消す	“PGM”が表示されている 停止中に、[■]（停止）を押す （「CLR ALL」が表示されます。） 5 秒以内にもう一度 [■]（停止）を押す

お知らせ

● プログラム再生の合計再生時間は表示されません。
● 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
● CD を取り出すと、プログラム内容は取り消されます。
● プログラム曲を選んで取り消すことはできません。
● プログラム再生中のサーチは、再生している曲の中だけで行われます。

テープを聴く／テープに録音する

本機で再生／録音できるテープ

	再生	録音
NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ※	○	×
METAL POSITION/TYPE Ⅳ※	○	×

※ ハイポジションテープやメタルポジションテープは、特性を生かすことができませんが、再生できます。

テープを聴く

1 本体の［▲］を押して、テープを入れる

2 手でホルダーを閉める

3 ［テープ ▶］を押して再生する

おもて面の終端まで再生し、自動停止します。
うら面を再生する場合は、テープを取り出してうら返す

停止する	［■］（停止）を押す
ワンタッチ再生する	電源「切」の状態で、テープが入っているときに、［テープ ▶］を押す
早送り/巻戻しする	停止中に、［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押す

TPS 機能を使う

曲の前後方向に 9 曲までとび越すことができます。（Tape Program Sensor 機能）

再生中に、［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押す

お知らせ

● TPS 機能は曲間の約 4 秒間の無音部を検出して働くため、次のような場合、正しく動作しないことがあります。
曲間が短い／曲間に雑音がある／曲中に無音に近い部分がある

テープに録音する

ノーマルポジションテープを使ってください。
CD や USB からの録音は、再生モード設定やプログラム設定ができます。

準備 録音用テープのリーダー部分を巻き取り、本機にテープを入れる

1 録音する音源を準備する

■CD の場合
録音したい CD を入れ、［CD ▶/❚❚］→［■］（停止）を押す（再生モード設定やプログラム設定で録音する場合は、設定する）（→ 8、9 ページ）

■ラジオの場合
放送局を受信する（→ 12 ページ）

■USB の場合
USB デバイスを接続し、（→ 13 ページ）［USB ▶/❚❚］→［■］（停止）を押す（再生モード設定やプログラム設定で録音する場合は、設定する）

■ iPod の場合
iPod を接続し、（→ 11 ページ）
［iPod ▶/❚❚］→［■］（停止）を押す

2 ［録音 ●/❚❚］を押したまま［テープ］を押す

本体で操作する場合は［テープ ●/❚❚］を押す

3 （iPod の場合のみ）［iPod ▶/❚❚］を押す

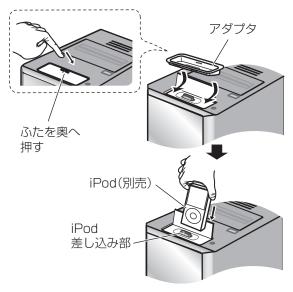
録音を停止する	［■］（停止）を押す
録音を一時停止する	［録音 ●/❚❚］を押したまま［テープ］を押す • 再開するには、もう一度この操作を行う
うら面に録音する	テープをうら返して［録音 ●/❚❚］を押したまま［テープ］を押す
録音を消して無音テープを作る	① テープを入れる ② ［テープ ▶］→［■］（停止）を押す ③ ［録音 ●/❚❚］を押したまま［テープ］を押す 両面とも上記操作を行ってください。

iPod の音楽を聴く

接続前に iPod の電源を切った状態にしてください。

① iPod ふたを開ける

② iPod に付属されているアダプタを取り付ける

③ iPod を取り付ける

● iPod を接続すると、充電が始まります。(充電が完了したかどうかは、iPod の画面で確認できます。)

● 接続したあと、iPod に無理に力を入れて動かさないでください。

お願い

● **充電完了後、iPod を長時間使用しないときは、本機から外しておいてください。充電後の自然放電により電池が消耗しても追加充電はされません。**

お知らせ

● iPod にアダプタが付属されていない場合は、Apple 社からお買い求めください。

● iPod に付属されている説明書などもお読みください。

● iPod のデータ管理について、当社では一切の保証はしていません。

iPod を再生する

本機の音量を下げる
iPod を接続する(→ 上記)

1 [iPod ▶/❚❚] を押して再生する

2 [+ 音量 −] を押して音量を調節する

選曲メニュー画面に入る	再生中 / 一時停止中に、[iPod MENU] を押す
選んで決定する	再生中 / 一時停止中に、[▲] や [▼] で選び、[決定] で決定する
一時停止する	[iPod ▶/❚❚] や [■] (停止) を押す • 再開するには、[iPod ▶/❚❚] を押す
曲を飛ばす(スキップ)	再生中 / 一時停止中に、[⏮/◀◀] や [▶▶/⏭] を押す
早送り / 早戻しする(サーチ)	再生中 / 一時停止中に、[⏮/◀◀] や [▶▶/⏭] を押したままにする

お知らせ

● 電源「切」の状態で、すでに iPod が接続されている時に [iPod ▶/❚❚] を押すと、自動的に電源が入り再生が始まります。(ワンタッチ再生)

■本機で使用できる iPod(2009 年 2 月現在)

名前	容量
iPod touch 第 2 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPod nano 第 4 世代(ビデオ)	8 GB, 16 GB
iPod classic	120 GB
iPod touch 第 1 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPod nano 第 3 世代(ビデオ)	4 GB, 8 GB
iPod classic	80 GB, 160 GB
iPod nano 第 2 世代(アルミニウム)	2 GB, 4 GB, 8 GB
iPod 第 5 世代(ビデオ)	60 GB, 80 GB
iPod 第 5 世代(ビデオ)	30 GB
iPod nano 第 1 世代	1 GB, 2 GB, 4 GB
iPod 第 4 世代(カラーディスプレイ)	40 GB, 60 GB
iPod 第 4 世代(カラーディスプレイ)	20 GB, 30 GB
iPod 第 4 世代	40 GB
iPod 第 4 世代	20 GB
iPod mini	4 GB, 6 GB

● ご使用の iPod またはそのバージョンにより、通常と異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の利用には支障ありません。できるだけ最新のバージョンをご使用ください。

ラジオを聴く

周波数を合わせて聴く

1 ［FM］や［AM］を押して「FM」または「AM」を選ぶ

電源「切」時の場合は、電源が入ります。

2 ［再生モード］を押して「MANUAL」を選ぶ

3 ［|◀◀/◀◀］や［▶▶/▶▶|］を押して周波数を合わせる

FM 88.1 ST

FM ステレオ放送を受信すると“ST”が表示されます。

■ **自動選局するには、周波数が動き始めるまで［|◀◀/◀◀］や［▶▶/▶▶|］を押したままにする**

放送を受信すると止まります。
自動選局中、周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。

● 自動選局を止めるには、もう一度［|◀◀/◀◀］や［▶▶/▶▶|］を押す

FM ステレオ放送で雑音が多いとき

FM 受信中に、“MONO”が表示されるまで［再生モード］を押したままにする

受信している周波数を変えると自動的にステレオ放送に戻ります。（通常はステレオ放送にしてください。）

● ステレオに戻すときは、“MONO”が消えるまで［再生モード］を押したままにする

お知らせ

● 「放送局を記憶させる」（→ 下記）では、FM のモノラル受信でも登録することができます。

放送局を記憶させる

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で聴くことができます。FM/AM 各 15 局まで記憶することができます。

準備　［FM］や［AM］を押して「FM」または「AM」を選ぶ

自動で記憶させる

プログラム

［プログラム］を 2 秒以上押したままにする

周波数が動いて、放送局を自動で記憶していきます。

■ **割り当てる開始周波数を変えるには、［決定］を押す**

「CURRENT」を選ぶと受信中の周波数から、「LOWEST」を選ぶと一番低い周波数から自動で割り当てる設定になります。

手動で記憶させる

プログラム

① **［再生モード］を押して「MANUAL」を選ぶ**

② **［|◀◀/◀◀］や［▶▶/▶▶|］を押して登録したい周波数に合わせる**

③ **［プログラム］を押す**

④ **数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ**

10 以上を選ぶには［≧ 10］を押してから数字ボタンを押す
選んだチャンネルに放送局が記憶されていた場合、新しい放送局が上書きされます。

⑤ **手順②から④をくり返す**

記憶させた放送局を聴く

① **［再生モード］を押して「PRESET」を選ぶ**

② **［|◀◀/◀◀］や［▶▶/▶▶|］を押してチャンネルを選ぶ**

数字ボタンでもチャンネルを選ぶことができます。

いろいろな再生

USB の音楽を再生する

USB デバイスなどを本機に接続して、USB の MP3 音楽※を再生することができます。
※ ファイルに「.mp3」や「.MP3」の拡張子のあるもののみ再生できます。

※ 本機はアルファベットのみ表示できます。アルファベット以外の文字（漢字、ひらがな、記号など）は正しく表示されません。

準備 USB デバイスを本機に接続する

① 本機の音量を下げて、USB デバイスを接続する
② [USB ▶/❚❚] を押して再生する

一時停止する	[USB ▶/❚❚] を押す • 再開するには、もう一度押す
停止する	[■]（停止）を押す (「RESUME」が表示され、停止した位置が記憶されます) • 再開するには、[USB ▶/❚❚] を押す • 始めから再生するには、もう一度 [■]（停止）を押してから [USB ▶/❚❚] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[◀] や [▶] を押す
アルバムを選ぶ（アルバムスキップ）	再生中に、[▲] や [▼] を押す 停止中に、[▲] や [▼] を 1 回押してから数字ボタンを押す

● CD と同様の操作で、再生モードやリピート再生の設定などができます。(➔ 8、9 ページ)

再生残り時間などを見る

再生中 / 一時停止中に、[表示切換] を押す

押すたびに下記情報が表示されます。

再生経過時間 ⟶ 再生残り時間 ⟶ アルバム名※ ⟶ 曲名※ ⟶ ID3(アルバム)※ ⟶ ID3(曲)※ ⟶ ID3(アーティスト)※ ⟶ 再生経過時間

音質・音場効果を変える

EQ（イコライザー）で好みの音質を選んだり、バス（低域）とトレブル（高域）のレベル調整などができます。

好みの音質を楽しむ

[プリセット EQ] を押して好みの音質を選ぶ

押すたびに：

HEAVY ⟶ CLEAR ⟶ SOFT ⟶ VOCAL ⟶ FLAT ⟶ HEAVY

HEAVY	ロックなど、パンチを効かせるとき
CLEAR	ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
SOFT	BGMとして聴くとき
VOCAL	ボーカルにつやを出したいとき
FLAT	音質効果を使わないとき

「HEAVY」/「CLEAR」/「SOFT」/「VOCAL」を選ぶと画面に“EQ”が表示されます。

低域 / 高域を調整する

① [BASS/TREBLE] を押して「BASS」または「TREBLE」を選ぶ

押すたびに：

BASS ⟶ TREBLE ⟶ （元の画面） ⟶ BASS

BASS	低域のレベルを調整するとき
TREBLE	高域のレベルを調整するとき

② [|◀◀/◀◀] や [▶▶/▶▶|] を押してレベルを設定する

（お知らせ）

● 各レベルは－ 4 から＋ 4 まで調整できます。

いろいろな再生(つづき)

サラウンド効果を楽しむ

[サラウンド] を押して “:::■:::” を表示させる

■ 解除するには、もう一度 [サラウンド] を押して “:::■:::” を消す

豊かな低音で聴く

低い周波数の重低音を大きくします。

[D.BASS] を押して設定を入 / 切する

(お知らせ)
- 再生する音源によっては効果の少ないものもあります。

より自然な音で聴く

iPod/USB の再生時に、より自然な音質にする効果があります。

[リ . マスター] を押して設定を入 / 切する

(お知らせ)
- 「リ . マスター」を有効にしていても、録音中は効果がありません。

ヘッドホンで聴く

(お願い)
- ヘッドホンを接続するときは、音量を下げてください。また、耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

タイマーを使う

時計を合わせる

本機の時計は 24 時間表示です。

① [時計 / タイマー] を押して「CLOCK」を選ぶ

押すたびに：
CLOCK ⟶ ◴PLAY ⟶ ◴REC
↑―――（元の画面）←―――

② 5 秒以内に、[|◀◀/◀◀] や [▶▶/▶▶|] を押して時計を合わせる

③ [時計 / タイマー] を押して時刻を決定する

■ **時計を確認するには、[時計 / タイマー] を押す**

(お知らせ)
- 時計を合わせると、デモ機能（➔ 5 ページ）は自動的に解除されます。
- 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
- コンセントを抜いたり、停電したときは、時計を合わせ直してください。

電源の切り忘れを防ぐ

CD、テープや USB の停止中に、ボタン操作のない状態が約 10 分続くと、自動的に電源が切れます。（オートオフ）

[オートオフ] を押す

“A.OFF” が表示されます。

■ **解除するには、[オートオフ] を押して “A.OFF” を消す**

(お知らせ)
- 一度設定しておくと、電源を切ってもオートオフ機能が働きます。

おめざめタイマー／留守録タイマーを使う

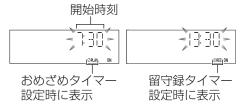
再生/録音 ◴

設定した時刻になると、電源が入って指定した音源を再生（おめざめタイマー）またはラジオを録音（留守録タイマー）し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。
音源が CD や USB のおめざめタイマーは、1 曲再生、ランダム再生、リピート再生やプログラム再生などが可能です。

準備
電源を入れ、時計を合わせる
（➜ 14 ページ）
■ **おめざめタイマーの場合**
再生する音源（CD/ テープ / ラジオ / iPod/USB）を準備し、音量を合わせる
■ **留守録タイマーの場合**
録音用のテープを入れて、ラジオを受信する（➜ 12 ページ）

① ［時計 / タイマー］を押して「◴ PLAY」または「◴ REC」を選ぶ

押すたびに：

② 5 秒以内に、［⏮/◀◀］や［▶▶/⏭］を押して開始時刻を設定する

③ ［時計 / タイマー］を押して決定する

④ 手順②と③をくり返して終了時刻を設定する

終了時刻
8:30 ◴PLAY OFF
14:30 ◴REC OFF

- 開始時刻から終了時刻までの時間が 1 分以上になるように設定してください。

⑤ ［再生 / 録音 ◴］を押して動作させたいタイマーを選ぶ

押すたびに：
◴PLAY ⟶ ◴REC ⟶（表示なし：無効）⟶ ◴PLAY

⑥ ［電源］を押して電源を切る（電源を切らないと、タイマーが動作しません。）

おめざめタイマー：
設定した時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。（動作中は“◴ PLAY”が点滅します。）
留守録タイマー：
頭切れ防止のため、設定した時刻の少し前に録音が始まります。（動作中は“◴ REC”が点滅します。）
- 録音中、音量は自動的に「0」になりますが、調節できます。

■ **タイマー設定の音源や音量を変えるには、［再生 / 録音 ◴］を押してタイマーを無効にしてから音源と音量を変え、手順⑤と⑥を行う**

お知らせ
- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- タイマーは無効にしない限り、設定した時刻に動作します。

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

［スリープ］を押して時間を選ぶ

押すたびに：
30 MIN ⟶ 60 MIN ⟶ 90 MIN ⟶ 120 MIN ⟶ OFF ⟶ 30 MIN

“SLEEP”が表示されます。

■ **解除するには、「OFF」を選ぶ**
■ **残り時間を確かめるには、［スリープ］を押す**

お知らせ
- おやすみタイマーは、おめざめタイマー／留守録タイマー（➜左記）と組み合わせて使えます。おやすみタイマーが優先するため、組み合わせるときは、予約時間が重ならないようにしてください。

Q＆A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）	ページ
他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因となるほか、正しい特性の音が得られません。	—
ハイポジションテープやメタルポジションテープに録音すると、どうなりますか？	本機では、正しく録音・消去できません。前回の録音が、完全に消えないことがあります。ただし、使用しても、機器への支障はありません。	—
長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。 再使用時には、時計の再設定が必要です。	—
再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも１つの方法です。	13

お買い上げ時の音質は…？

お買い上げ時には、EQ（イコライザー）が「HEAVY」（重低音と高音を強調）に設定されています。

お好みの音質に設定してお楽しみください。
（➜13、14 ページ）

ジャズが好きなんだけど…
イコライザーの設定を
変えてみようかしら

こんな表示が出たら

表示	意味	処理
ADJUST CLOCK	タイマーを動作させるには時刻設定が必要です。	時計を合わせてください。（➜ 14 ページ）
ADJUST TIMER	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定していません。	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定してください。（➜ 15 ページ）
ERROR	誤った操作をしています。	取扱説明書を読み、操作をやり直してください。
F76	異常が発生しました。	一度電源を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
NO DEV.	iPod または USB 機器が接続されていません。	iPod または USB 機器をきちんと接続してください。（➜ 11、13 ページ）
NO DISC	CD が入っていません。または、曲の入っていない CD-R などを入れました。	再生できる CD を入れてください。
NO PLAY	再生できない曲です。	（その曲をスキップして再生します。）
	再生できないディスクです。	再生できるディスク（➜ 7、8 ページ）に取り換えてください。
	再生できない USB のフォーマットです。	「.mp3」や「.MP3」の拡張子のあるものを再生してください。
NO TAPE	テープが入っていません。	テープを入れてください。
PGM FULL	プログラム曲数が 24 曲を超えようとしています。	（これ以上のプログラムはできません。）
READING	情報を読み込んでいます。	「READING」消灯後に操作してください。
REMOTE 1 REMOTE 2	リモコンモードの設定が本体と合っていません。	リモコン側のリモコンモードを切り換えてください。（➜ 5 ページ）

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

こんなときは	ここをご確認ください	ページ
■システム全体に共通		
電源を切っているのに表示部が点灯して、次々と変化する	デモ機能を解除してください。	5
電源が入っているのに音が出ない	スピーカーコードを正しく接続してください。	4
再生中に「ブーン」という音がする	• 接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。電気器具を本機からできるだけ離してください。 • 電源コードを逆に差しかえてみてください。	—
■CD		
• CD を入れても、表示部が変わらない • 再生ボタンを押しても再生が始まらない	規格外の CD を使用していませんか。	7
	寒い所から急に暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に露付きが生じることがあります。 約 1 時間待ってから使用してください。	—
特定の箇所が正常に再生しない	CD を柔らかい布でふいてください。	7
CD トレイふたが正しく閉まらない	ディスクが正しい位置にあるかどうか、確認してください。	7
■テープ		
音が途切れる、雑音が多い	ヘッドが汚れていませんか。 市販のクリーニングテープを使って、ヘッド部を清掃してください。	7
録音状態にならない	つめを折っていませんか。 つめを折った部分にセロハンテープなどを貼ってください。	7
■iPod		
iPod を接続しても、認識されない	iPod が対応している機種かどうか、確認してください。	11
■ラジオ		
• FM 放送や AM 放送がうまく受信できない • 雑音、ひずみが多い • “ST” が点滅する	FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続してください。	4
	アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。	—
	アンテナ線と電源コードをできるだけ離してください。	—
	送信所が遠かったり、近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを利用してみてください。	4
	テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。また、近くで携帯電話の充電をしていませんか。 各機器の電源を切る、または本機と各機器との距離を離してください。	—
■USB		
USB をテープに録音しようとしても録音が始まらない	USB デバイスを一度抜き差ししてみてください。また、本機と USB デバイスの電源を切ってみてください。	—
再生ボタンを押しても再生が始まらない	本機では、「.mp3」や「.MP3」の拡張子のあるもののみ再生できます。 容量が 8 GB を超える USB デバイスの動作は保証していません。	13
操作に時間がかかる	容量の大きい USB デバイスの場合、操作に時間がかかることがあります。	—

故障かな !? （つづき）

■リモコン

リモコン操作ができない	乾電池の ⊕、⊖ を正しく入れてください。	5
	新しい乾電池と交換してください。	5
	本体側とリモコン側のリモコンモードが異なっている場合は、リモコン側のリモコンモードを本体と合わせてください。	5
• 本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する • 他の機器のリモコンで本機が誤動作する	他の機器が干渉しないように、本機のリモコンモードを変更してください。	5

仕様

センターユニット部（SA-PM48）

アンプ部

実用最大出力 (両 CH 動作) (JEITA)	20 W + 20 W 4 Ω、1 kHz、 全高調波ひずみ率 10 %
入出力端子	USB 端子 HP 端子：ステレオミニ（3.5 mm） iPod 端子：iPod 専用端子

FM チューナー部

受信周波数帯域	76.0 ～ 90.0 MHz(100 kHz ステップ)
アンテナ端子	75 Ω（不平衡型）

AM チューナー部

受信周波数帯域	522 ～ 1629 kHz (9 kHz ステップ)

CD 部

ディスク	8 cm/12 cm
サンプリング周波数	44.1 kHz
量子化	16 ビット直線
光源	半導体レーザー
波長	795 nm
レーザーパワー	CLASS Ⅰ
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）
ワウ・フラッター	測定限界以下
デジタルフィルター	8 fs
D/A コンバーター	MASH（1 ビット DAC）
CD-R、CD-RW	再生可

テープ部

トラック方式	4 トラック、2 チャンネル
ヘッド	録音 / 再生：パーマロイ 消去：ダブルギャップフェライト
モーター	DC サーボモーター
録音方式	AC バイアス 100 kHz
消去方式	AC 消去 100 kHz
テープ速度	秒速 4.8 cm

USB 部（再生のみ）

USB インターフェース	USB 2.0 full speed（USB1.1 互換）
対応デバイス	マスストレージクラス
給電電流	最大 500 mA
ファイルフォーマット	FAT12/16/32
対応 USB メモリ容量	最大 8 GB
再生フォーマット	MP3（拡張子：「.MP3」または「.mp3」）
ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps
最大フォルダ数（アルバム数）	255
最大ファイル数（曲数）	2500

● 本機の USB 端子に USB ケーブルで iPod を接続しても使用できません。iPod は本機の iPod 差し込み部に装着してご使用ください。

本体総合

電源	AC100 V　50/60 Hz
消費電力	48 W
寸法（幅×高さ×奥行）	153 mm × 226 mm × 292 mm
質量	約 2.8 kg
許容周囲温度	0 ℃～+ 40 ℃
許容相対湿度	35 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

電源切（スタンバイ※）時の消費電力：約 0.30 W

※ デモ機能切、iPod 非充電時

スピーカー部（SB-PM48）

形式	2 ウェイ 2 スピーカーシステム （バスレフ型） ウーハー：10 cm コーンタイプ ツイーター：6 cm コーンタイプ
インピーダンス	4 Ω
許容入力（IEC）	20 W（Max）
出力音圧レベル	80.5 dB/W（1.0 m）
再生周波数帯域	52 Hz ～ 31 kHz（-16 dB） 74 Hz ～ 27 kHz（-10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	145 mm × 226 mm × 197 mm
質量	約 1.9 kg

注）1. この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2. 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	気をつけていただく内容です。
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。
・電池には安全のために被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
・液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

接触禁止

感電の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。
・機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
・特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
・内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

⚠ 注意

ディスクトレイに指をはさまれないようにする

指に注意

けがの原因になることがあります。
・特にお子様にはご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
・設置・工事は販売店にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠ 注意

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

・背面の通気孔をふさがないでください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

スピーカーは付属のものを接続する

付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

● **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

・ディスクやテープは、保護のため取り出しておいてください。

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

・直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

● 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。

● ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

保管

■ 次のような場所に置かない

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

保証とアフターサービス

よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 8 年

当社は、この CD ステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

17 ～ 18 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  右記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

ご連絡いただきたい内容			
製　品　名	CD ステレオシステム	お買い上げ日	年　　月　　日
品　　　番	SC-PM48	故 障 の 状 況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166	☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市大字浜田字豊田364	☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1	☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43	☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15	☎(024)991-9308

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19	☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1	☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9700
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14	☎(025)286-0180

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	金沢市玉鉾2丁目266番地	☎(076)280-6608
富山	富山市根塚町1丁目1-4	☎(076)424-2549
福井	福井市問屋町2丁目14	☎(0776)21-0622
長野	松本市寿北7丁目3-11	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市葵区千代田7丁目7-5	☎(054)287-9000
愛知	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岐阜	岐阜市中鶉4丁目42	☎(058)278-6720
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	津市久居野村町字山神421	☎(059)254-5520

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	栗東市霊仙寺1丁目1-48	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)646-2123
大阪	大阪市城東区関目2丁目15-5	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4	☎(078)796-3140

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山市田中138-110	☎(086)242-6236
広島	広島市西区南観音1丁目13-5	☎(082)295-5011
山口	山口市小郡下郷220-1	☎(083)973-2720

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-6388
徳島	徳島市沖浜2丁目36	☎(088)624-0253
高知	高知市仲田町2-16	☎(088)834-3142
愛媛	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1	☎(089)905-7544

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1919-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	天草市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	奄美市名瀬朝仁町11-2	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

CLUB Panasonic　ご愛用者登録について

「ご愛用者登録」のご案内

弊社ではより良い商品とサービスをお客様にご提供できるようにパナソニック商品をご購入の方にご愛用者登録をお願いしています。
ぜひ、この機会にご愛用者登録をお願いいたします。
※ 皆様の貴重なご意見を、製品の開発や改善の参考とさせていただきたいと思いますので、アンケートにもご協力いただきますようお願い申し上げます。

ご登録 特典 1	**家電情報をまとめて登録／管理** 購入年月や製造番号などをＭｙ家電リストに保存できます。
ご登録 特典 2	**商品情報をスムーズに入手** Q&Aや取扱説明書など、商品に関する情報が見られます。
ご登録 特典 3	**エンジョイポイントがたまる** たまったポイントでプレゼントに応募できます。

ご登録手順　下記のどちらかを選んでください。

パソコンからの登録方法

次のアドレスにアクセスしてください。

http://club.panasonic.jp/

携帯電話からの登録方法

1 二次元バーコードでアクセス

2 次のアドレスにアクセスしてください。
http://mobile.club.panasonic.jp/
※ 携帯電話から登録する場合は、携帯電話のメールアドレスが必要です。

■ お問い合わせ先：CLUB Panasonic 事務局（club-info@panasonic.jp）

愛情点検

長年ご使用の CD ステレオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	• 煙が出たり、異常なにおいや音がする • 音声が出ないことがある • 内部に水や異物がはいった • 本体に変形や破損した部分がある • その他の異常や故障がある	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　－	品番	SC-PM48
お客様ご相談窓口	☎（　　）　－	お買い上げ日	年　月　日

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571－8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2009

RQTX0196-1S
H0209WM1069